

住民本位の大垣市議会を求めて 運動の第一歩が始まりました

平成24年5月、「議会改革」をめざして6人の議員で統一会派を組みました。(その後1名離脱)統一会派は、「テレビ放映」や「一般質問に一問一答方式を導入」などを議会改革として提案してきましたが、テレビ放映など厚い壁に阻まれています。少しでも「議会の見える化」をはかるため、議会報告会を各地で開催してきました。その中で、議員の視察旅費に、乗車していないグリーン車の料金まで支給されていることが明らかになり、それを知った市民の有志が住民監査請求を行いました。大垣市にとっては何年ぶりか記憶にないほど大変珍しい出来事だったようです。議会改革をめざした1年でしたが制度的にはまだ目立った結果は出ていませんが、住民監査請求という市民運動に発展したことは、大きな成果だと思います。

大垣市議会議員 笹田 トヨ子

利用しなかったグリーン車料金の返還を求めて提訴

住民監査請求は、「条例に違反していない」と棄却されたため、監査請求人代表前島直也氏等大垣市民6人は6月21日、大垣市長を相手に、平成24年度行政視察等で支出した旅費468万円の内グリーン車料金分約80万円は利用されていないと議員などに対して返還を求めよう提訴しました。

第1回の公判 岐阜地裁で開かれる

とき 9月12日(木)午後1時より
ところ 岐阜地方裁判所

原告2名が陳述を行います。ご都合のつく方は、是非傍聴をお願いします。

グリーン車料金支給は 大垣市のみ

県内14市の中で、条例でグリーン車料金を「支給する」と決めているのは大垣市と各務原市の2市でしたが、その各務原市も、1年前の3月に議員の申し合わせの中でグリーン車料金の支給はなくなりました。議会改革統一会派はグリーン車料金の受け取りはやめようと提案してきましたが、他の会派は受け入れず、それどころか今年から「議員のステータスを高める」とグリーン車に乗って視察に出かけると時代錯誤の動きになっています。



6月21日、
岐阜地裁
に提訴後、
弁護士会館
で記者会見

24年度グリーン車料金返還 するも受取拒否で供託へ

野田、岡田、長谷川、富田三郎、粥川、笹田の各議員はH24年度に支給されたグリーン車料金を返還しようとしたが、大垣市は受け取りを拒否しました。そのため、6人の議員はグリーン車料金196,660円と遅延損害金7,257円を供託する手続きに入っています。

グリーン車利用条例改正を 求める署名運動はじまる

乗車しない特別車両料金の支給は税金の無駄使いであると住民監査請求を行なった前島さん等は、裁判とあわせて条例改正を求めて署名運動を開始しました。大垣市職員の旅費に関する条例第10条には「片道100km以上の旅行する場合は特別車両料金を支給する」とかかれており、この10条の改正を求めた署名運動です。署名運動にご協力をお願いします。

大垣市議会・議会改革議員グループ

第4回議会報告会のお知らせ

テーマ：「議会改革と6月議会」
日時：8月31日(土) 13時から
会場：中川ふれあいセンター3F

*この会場で、グリーン車料金の返還を求めて裁判に至った経緯について、原告団長の前島氏から報告があります。